

2011年9月ワークキャンプ@ビシュナプール活動報告書

念願の、第1回ワークキャンプを開催する

第2回下見で決定した、ウェストベンガル州ビシュナプールコロニーにて、第1回ワークキャンプを開催した。

【キャンプ日程】

2011/09/03-2011/09/13(計11日間)

【メンバー構成】

日本人キャンパー16人

インド人キャンパー2人



～キャンパー総勢18人と村長のジョゲン・ダス～

【メンバーと役割】

梶田 恵理子・早稲田大学3年

吉田 賢太・岐阜大学3年

安田 亜希・早稲田大学3年

井村 洋介・休学して世界一周旅行中

加藤 優人・武蔵野大学1年

山本 陽介・神奈川大学2年

原田 佳美・愛知淑徳大学3年

朴 明眞・早稲田大学4年

山田 詩織・早稲田大学1年

荒井 大吾・早稲田大学5年

杉浦 綾香・名古屋市立大学 4 年

八鍬 開・早稲田大学 1 年

内田佳奈・愛知淑徳大学 3 年

三塚 由紀子・神奈川大学 1 年

河合 笑子・愛知淑徳大学 3 年

檜山 大輔・早稲田大学 4 年

安田 亜希・早稲田大学 3 年

【キャンプの目的】

- ・初の日本人主体のワークキャンプを行い、成果を試す。
- ・モンスーンによって飛ばされたり、破壊された屋根を修繕、もしくは新築する。
- ・コロニーの近隣住民のハンセン病やハンセン病コロニーに対する意識を調査する。
- ・コロニー近隣住民をコロニーに招き、パーティを開くことで、ハンセン病とコロニーの啓発活動を行う。

【成果】

- ・プロの大工と共に、計画通りの数の屋根の修繕と新築を行った。
(しかしキャンプ期間中に完成ならず。)
- ・近隣住民 100 人の意識調査を行った。
- ・2 回のコロニーでのパーティを行い、多くの近隣住民がコロニーに訪れた。
- ・政府とのコネクションができた。
- ・ベンガル地方の新聞に活動に関する記事が掲載された。
- ・人権に関する雑誌に活動に関する記事が掲載された。
- ・渡航中、体調を崩すメンバー多数。結果 6 人が入院した。
- ・インド人のキャンパーが圧倒的に少なく、プロジェクトを行うのに支障をきたすことがあった。